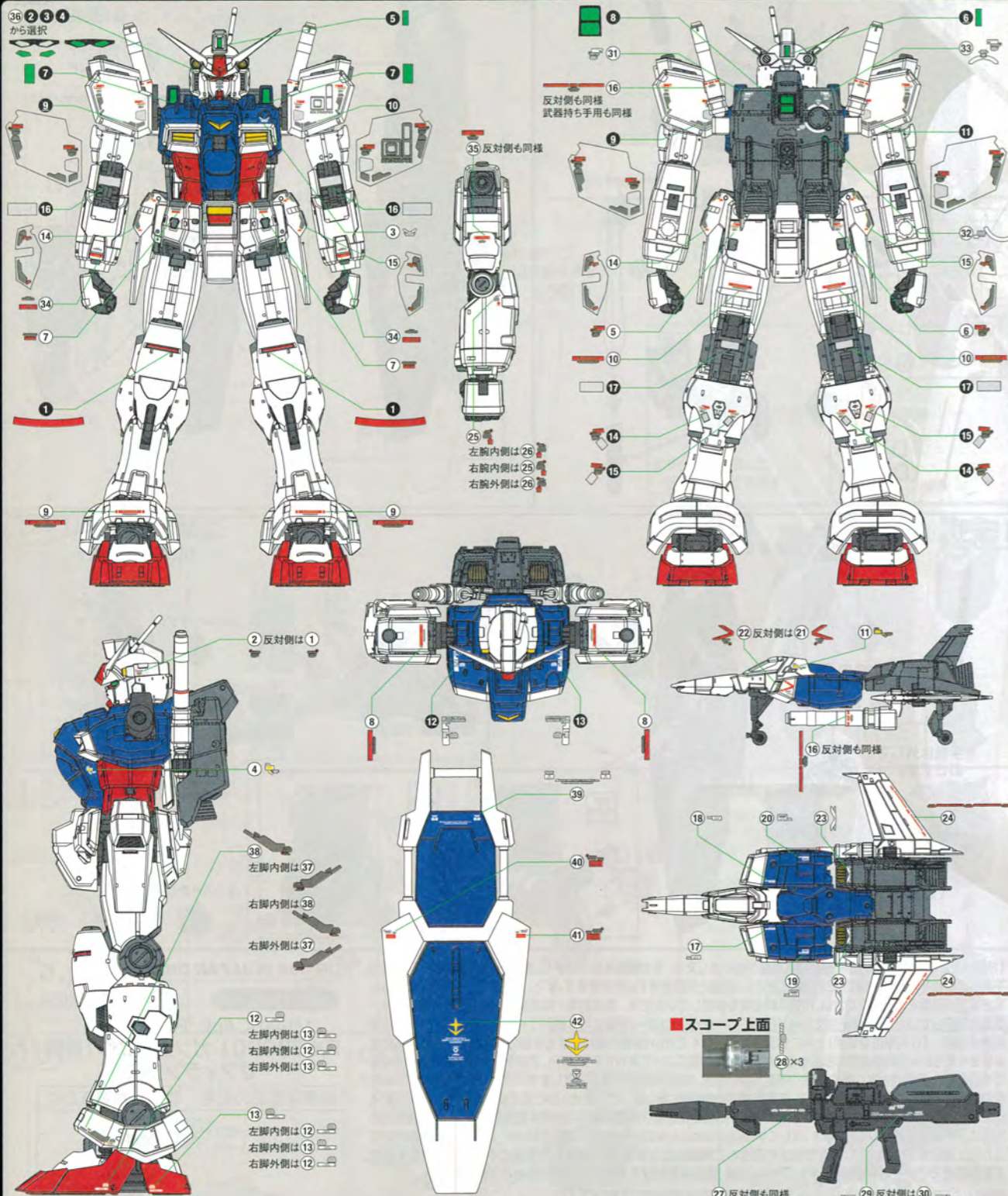


※マーキングシールを貼る位置を数字で表記してあります。
 ※黒丸白文字の部分は金属の輝きを表現したシールです。このシールを貼るだけで、メカニカルな質感を楽しめます。
 ※余ったマーキングは好きな所に貼ってください。※貼り指示は一例ですので、イメージに合わせてお貼りください。

下の図を見てマーキングの貼る位置を確認してください。



※このマーキングはプラモデルオリジナルのもです。※シールを貼る際にはピンセットなどのご使用をお勧めします。

COLOR CHART

■ 本体等ホワイト部の塗装色。 ホワイト(100%)	■ インテーク等イエロー部の塗装色。 イエロー(55%)+ホワイト(30%)+ オレンジイエロー(15%)	■ 腕等の塗装色。 ホワイト(50%)+ 黒色(50%)	■ 髪、ベルト等ブラック部の塗装色。 ブラック(100%)+ホワイト(少量)
■ 本体等ライトグレー部の塗装色。 ホワイト(95%)+グレー(5%)+ ブルー(少量)	■ バックパック等グレー部の塗装色。 グレー(80%)+ブラック(20%)	■ 脚等の塗装色。 ブラック(70%)+ホワイト(30%)	■ 制動ライトブラック部の塗装色。 セールカラー(100%)
■ 脚等ブルー部の塗装色。 インディブルー(80%)+ホワイト(40%)+ ブルー(少量)	■ ビームライフル等 ダークグレー部の塗装色。 ブラック(70%)+ホワイト(30%)	■ 脚先部の塗装色。 イエロー(80%)+オレンジイエロー(40%)	■ 制動ホワイト部の塗装色。 ホワイト(100%)
■ 本体等レッド部の塗装色。 モンザレッド(80%)+シャインレッド(40%)	■ 脚先部の塗装色。 ブラック(70%)+ホワイト(30%)	■ 脚先部の塗装色。 イエロー(80%)+オレンジイエロー(40%)	■ 脚先部の塗装色。 モンザレッド(100%)

1/144 コウクラキ
薄形製



12

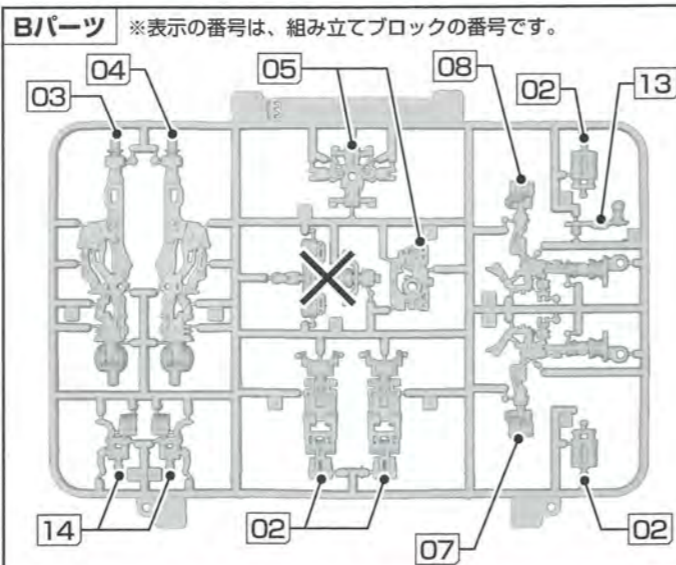
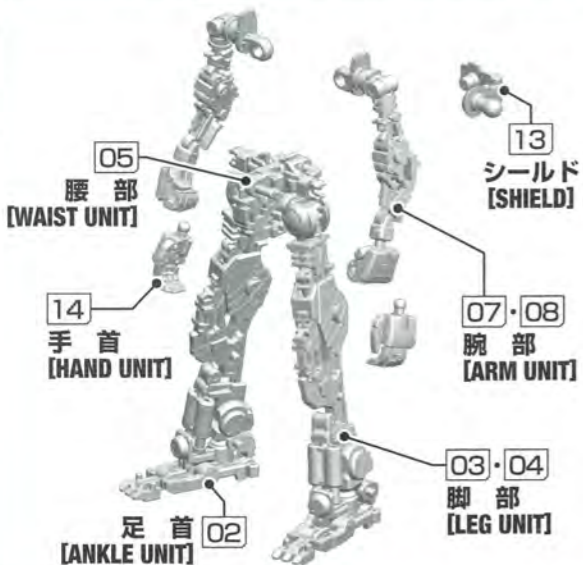
GUNDAM GP01 ZEPHYRANTHES
 E.F.S.F. PROTOTYPE MULTIPURPOSE MOBILE SUIT
 リアルグレード 1/144 スケールモデル ガンダム試作1号機 ゼフィランサス

Real Grade is a new brand which, as its name indicates, aimed to be "the real thing".
 We want to tell all generations who know Gundam of the pleasure and excitement of making a mobile suit.
 Please be sure to enjoy the numerous gimmicks incorporated in this palm-size 1/144 scale model.



組み立て前の基本説明

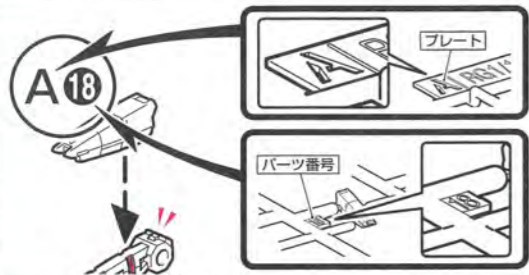
アドバンスドMSジョイント5(Bパーツ)のフレーム構成は、図のようになります



Bパーツ ※表示の番号は、組み立てブロックの番号です。

部品の探しかた

※説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探しましょう。(パーツリスト表と合わせて見ると、探しやすいですよ。)



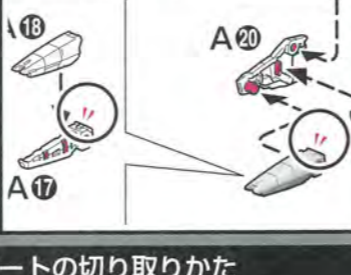
数字の順に組み立ててください

※組み立て図中に◆◆のついている組み立ては、数字の順に組み立ててください。

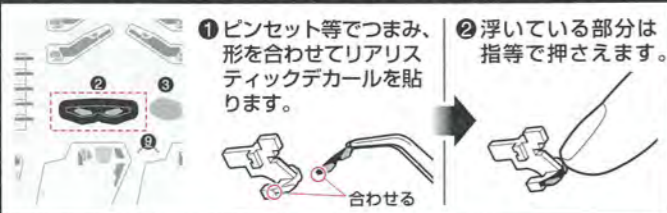


部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



リアリスティックデカールの貼りかた



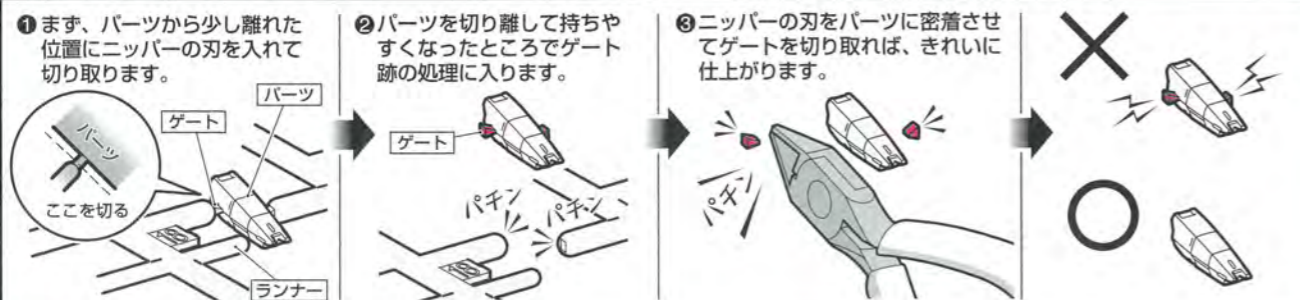
アンダーゲートの切り取りかた

アンダーゲート マークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※説明書でアンダーゲートと表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。



パーツの切り取りかた



△ 注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が悪く飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

＜組み立てる時の注意＞

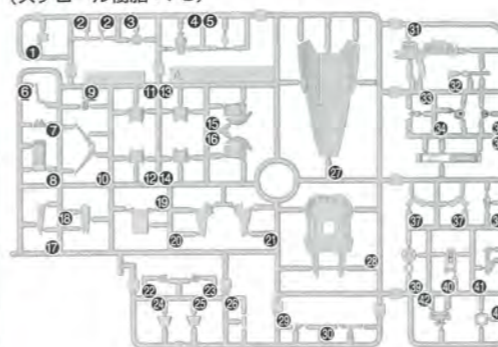
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

パーツリスト

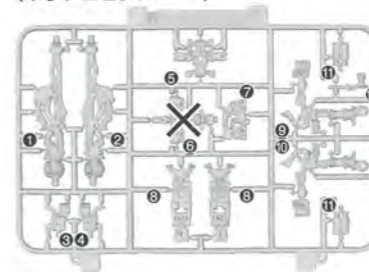
(X印は使用しないパーツです。)

※細かいパーツやデカールは破損や紛失の恐れがあります。取り扱いには十分注意してください。ピンセット等をご使用になると便利です。(道具類は付属しておりません。別にご用意ください。)

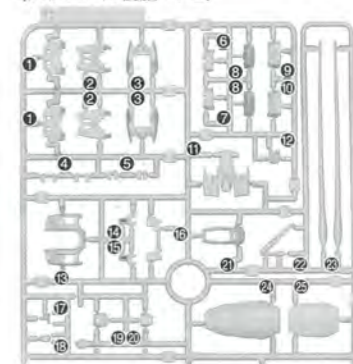
Aパーツ(イロプラ) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



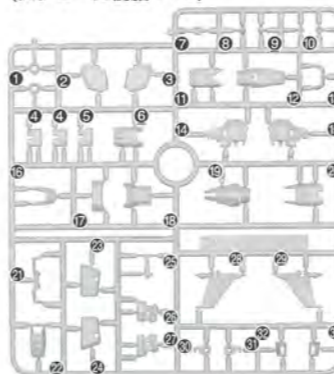
Bパーツ(ダークグレー)
(ABS樹脂: ABS)
(ポリプロピレン: PP)



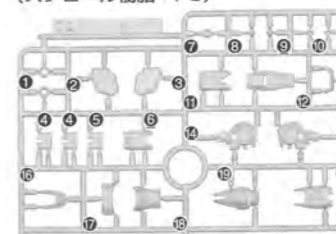
Cパーツ(イロプラ) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



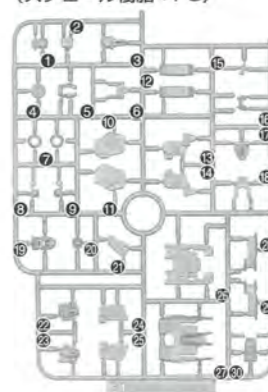
D1パーツ(ホワイト) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



D2パーツ(ホワイト) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



E1パーツ(グレー) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



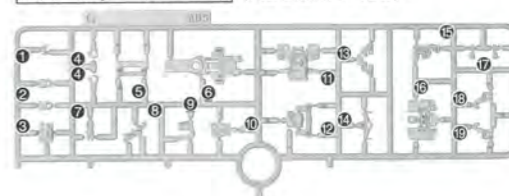
E2パーツ(グレー) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



Fパーツ(ダークホワイト)
(スチロール樹脂: PS)



Gパーツ(ダークグレー) (ABS樹脂: ABS)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

リアリスティックデカール……………1枚

GUNDAM GPO1 ZEPHYRANTHES

RX-78GPO1 ガンダム試作1号機は、地球連邦軍とAE(アナハイム・エレクトロニクス社)が共同で推進する「ガンダム開発計画」によって極秘裏に試作された実験用のガンダムタイプMS(モビルスーツ)である。連邦軍のトリントン基地において重力下稼働テストを行う予定であったが、同時に搬送されていたRX-78GPO2A ガンダム試作2号機の強奪を目論む公国軍残党「デラース・フリード」によって同基地が襲撃されたため、そのまま実戦に投入された。本機は「一年戦争」において目覚ましい戦果をあげたRX-78-2 ガンダムのコンセプトを継承した機体として開発されており、「教育型コンピューター」をはじめ、コクピットと脱出ポッドの機能を持つ「コア・ブロックシステム」なども採用されている。トータルズベックなどは「ガンダム」と比較して向上していたが、地上と宇宙の双方で運用可能とする汎用性に関しては、主戦であるコア・ファイターIIを換装する事で対応する手法を採用していた。ちなみに「ゼフィランサス」とは、AE社の開発部門が名付けた愛称的なコードネームで「タマシダシ属」の植物全般のことを指す。

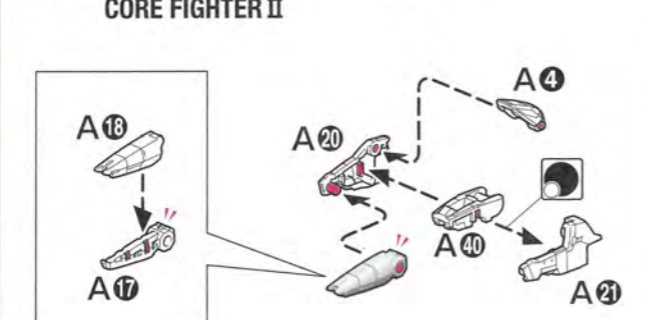


【コア・ファイターII】
ガンダム試作1号機に採用されたコア・ファイターIIは、「ガンダム」のものとは異なり、基本的に「空中換装」は想定されておらず、換装作業は下半身のBパーツを固定した状態で行う事が条件とされた。ポディユニットとのドッキングには、ドラムモジュールとして機体から独立したコクピットブロックを90度ロールした状態ではさみこむスライド式のプラットフォームが採用され、航空機形態時の飛行ベクトルとMS形態時の機軸はそれぞれのモードで固定される。メインジェネレーターブロックは機体胸部に収納され、エンジンブロックは背面に露出可とすることで全長が延長され、機体構造に航空機としても十分な機能と装備を盛り込む事が可能となったのである。メインエンジンはMS形態時にメインスラスターとして機能するほどの大推力を持ち、前進翼の採用とも相俟って破格の加速性能と高度な空戦能力を備えている。コア・ファイターIIは、単なる脱出コクピットなどではなく、屈指のスペックを持つ「戦闘用航空機」でもあったと言える。

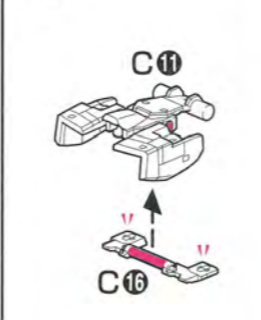
CORE FIGHTER II



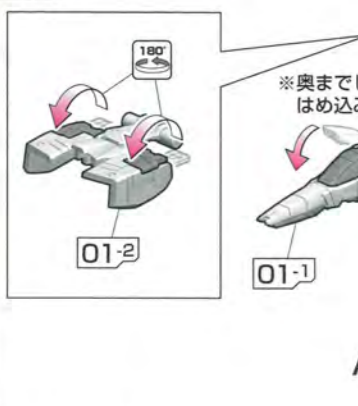
01-1 【コア・ファイターIIの組立】 CORE FIGHTER II



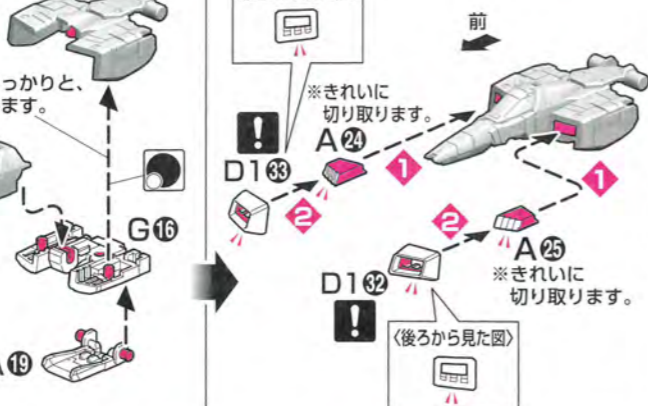
01-2



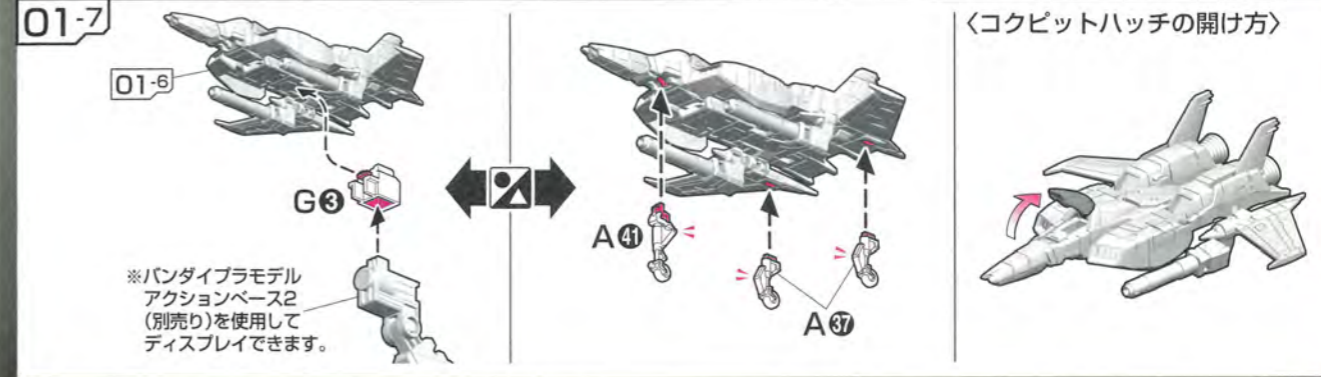
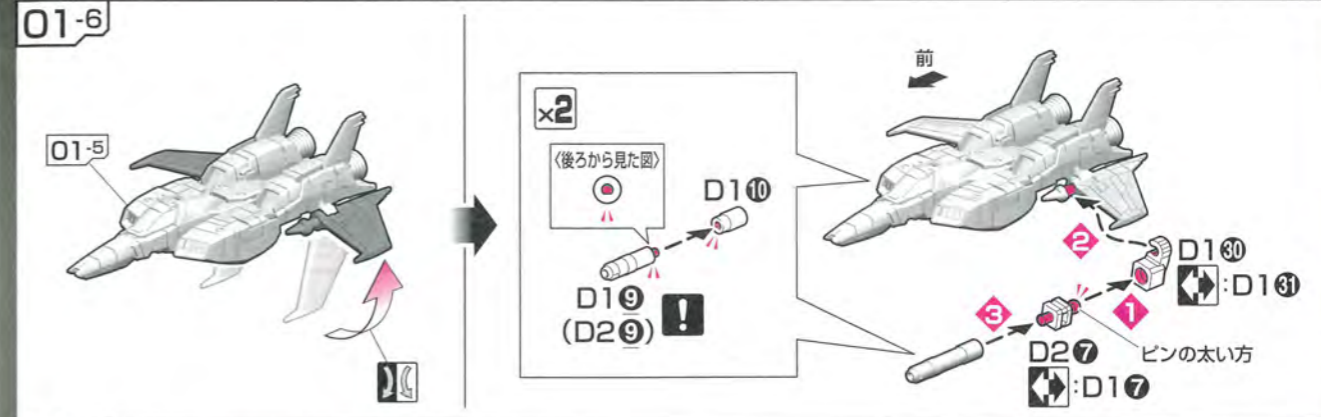
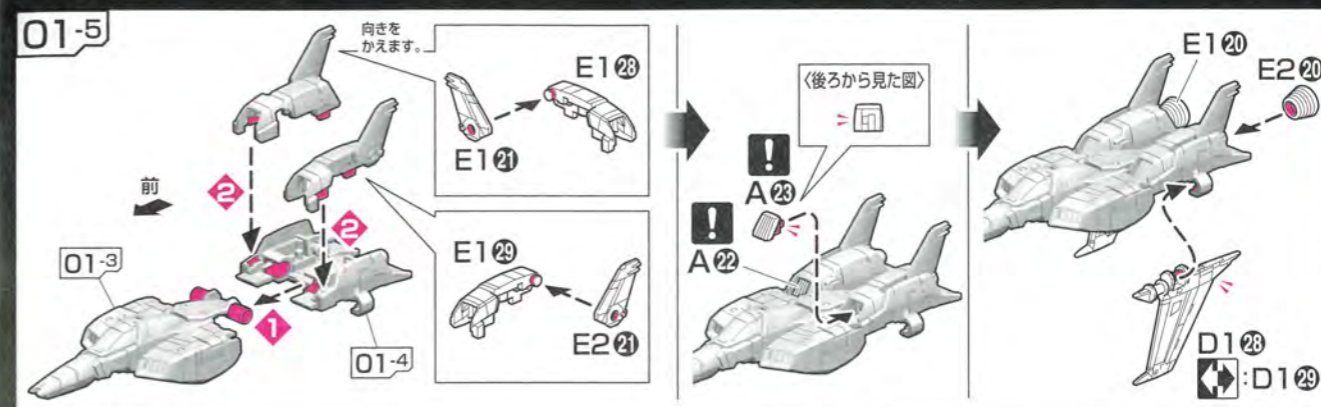
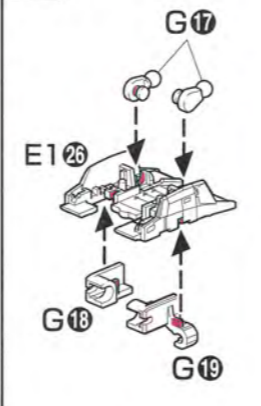
01-3



01-4



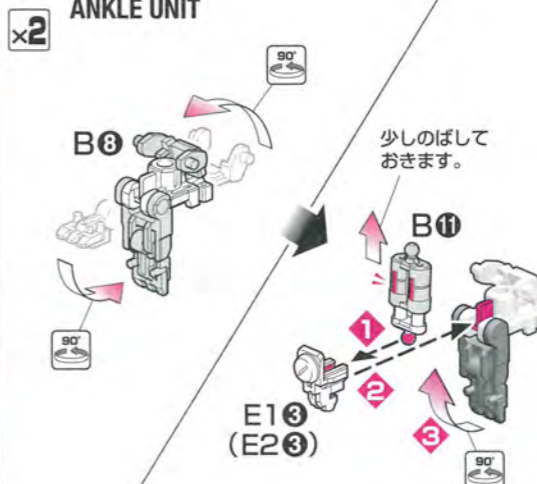
01-4



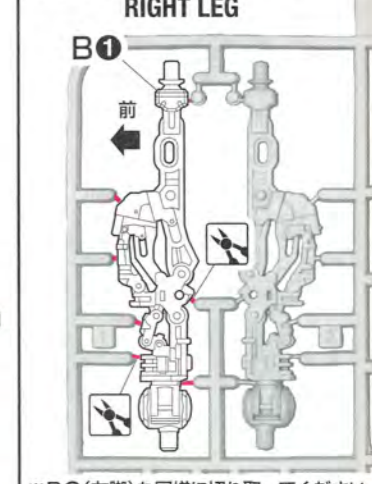
LEG UNIT



02 【足首の組立】 ANKLE UNIT



03-1 【右足の組立】 RIGHT LEG



03-2

アンダーゲート
E12

前

03-1

02
で作った
足首

E11

E10

E16

E17

90°

〈内側から見た図〉

E14

E13

〈内側から見た図〉

E13

C3

D113

※ピンをよけながら
はめ込みます。

C4

C1

03-3

アンダーゲート
D116

前

03-2

C8

4

3

2

C5

C2

D120

F8

D115

E18

E19

D114

03-4

前

03-3

F1

F4

F6

D119

E11

E15

アンダーゲート

〈内側から見た図〉

E11

E15

F7

D118

※突起をよけながら
はめ込みます。

D117

右脚の可動

※可動させる際にはスライドする
装甲パーツを押さえないでください。
フレームが破損する恐れがあります。

関節の動きと
連動して装甲が
スライドします。

※左脚も完成後、同様に動かしてください。

04-1

左足の組立
LEFT LEG

90°

E22

アンダーゲート

E210

E211

B2

前

02
で作った
足首

04-2

〈内側から見た図〉

04-1

E26

前

E27

90°

〈内側から見た図〉

E213

E214

E24

※ピンをよけながら
はめ込みます。

D213

C3

7

3

2

7

C4

C1

アンダーゲート

D216

1

4

C8

3

2

C5

C2

04-3

F8

04-2

D220

前

D214

E29

D215

E28

F1

04-1

E21

アンダーゲート

E26

D219

〈内側から見た図〉

E21

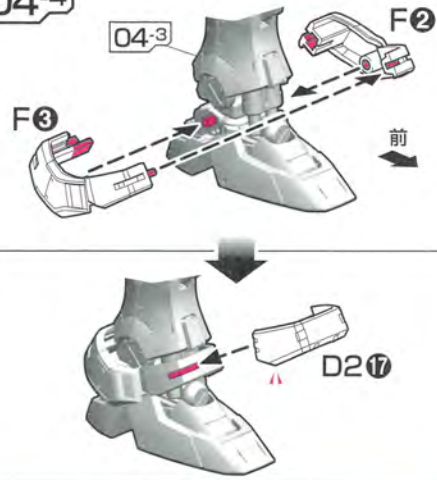
E25

D218

F7

※突起をよけながら
はめ込みます。

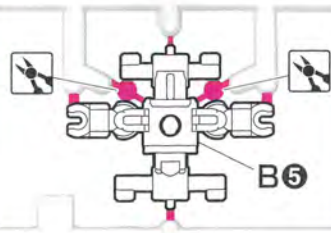
04-4



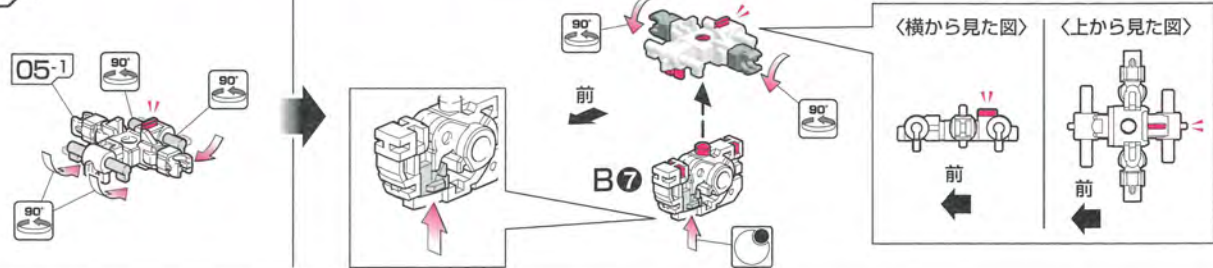
WAIST UNIT

GUNDAM GP01 ZEPHYRANTHES

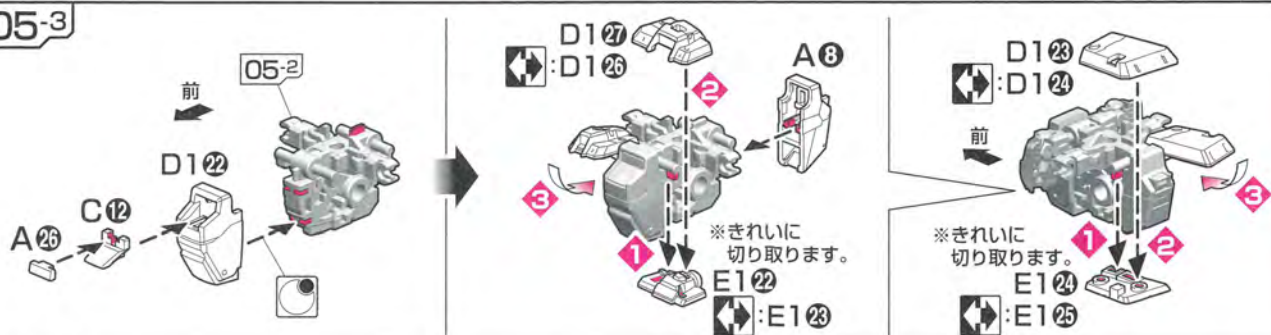
05-1 [腰部の組立] WAIST UNIT



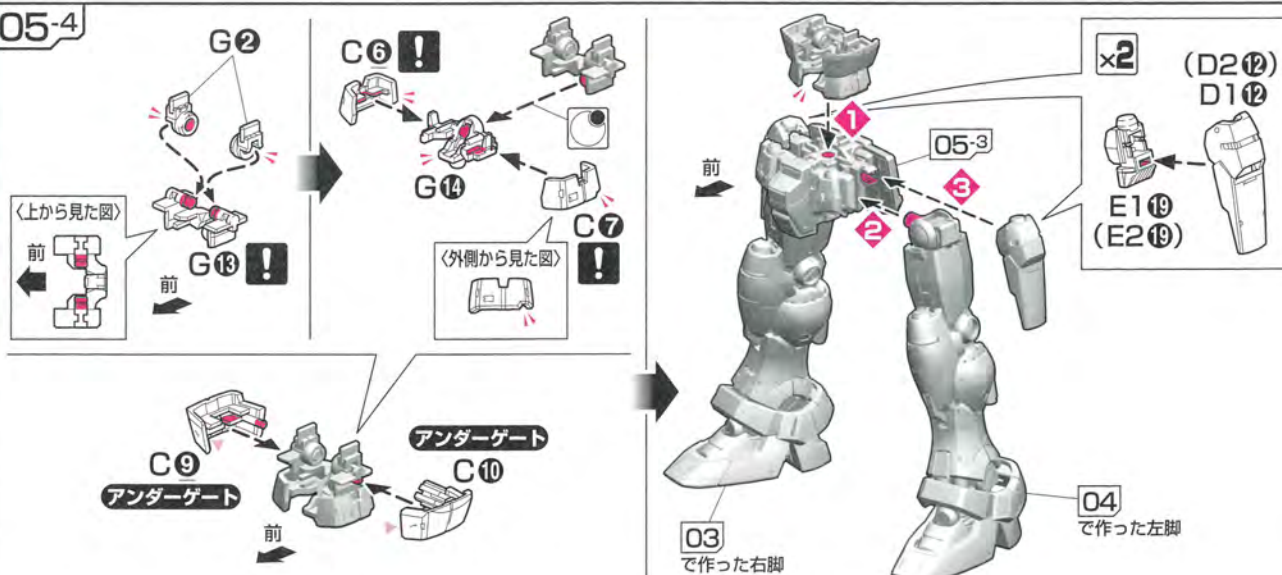
05-2



05-3



05-4



GUNDAM Development Project

"ガンダム開発計画"とは、U.C.0081年10月13日に連邦議会で可決された"連邦軍再建計画"の一環として実施された次世代MSの開発計画である。計画の発効は同月20日、連邦軍のジョン・コーウェン中将が掌管し、AEが中心となって極秘裏に推進されることとなった。連邦軍再建計画そのものは、ジオン公国との戦争によって疲弊、消耗した軍組織の再編と、喪失した戦力や施設の復旧などを主な目的としていた。公的には当面の間、自軍が開発、調達した機体の償却と並行し、ジオン側から徴発した機体や接収した施設を使用して作戦行動を行う事とした。実際問題として、"一年戦争"を経た後の戦略はMSを抜きに考えられるものではなく、対MS戦闘を中核に据えた戦術体系の構築こそが急務であった。それには、戦後に接収した公国系の技術を取り込み、解析、咀嚼した上で新たなMSを開発する必要がある。かくして、一年戦争期に開発された両軍の機体用途や機能、有為性を徹底的に分析した上で、それぞれ"最強のMS"の機体案がAEから提出された。まずは"万能型"とも呼べるガンダムタイプのブラッシュアップ機で、MS単体での総合性能向上を目的とするGP01。次に"最大の攻撃力"を持つ機体として、中でも"核弾頭"の運用に特化したGP02A。そして文字通り"最強の機動兵器"の開発を目的としたGP03である。他にもいくつかの機体案が提出されたが、実際にロールアウトした"GPシリーズ"は以上の3機であった。その後、この計画は抹消、封印され、公式には存在しなかった事とされた。ただし、この時期の技術的な蓄積は破格のものであり、後のMSの圧倒的な進化はこの時点で決定付けられていたと言っても過言ではない。

RX-78GP01
ガンダム試作1号機 ゼフィランサス



RX-78GP01Fb
ガンダム試作1号機 フルバーニアン

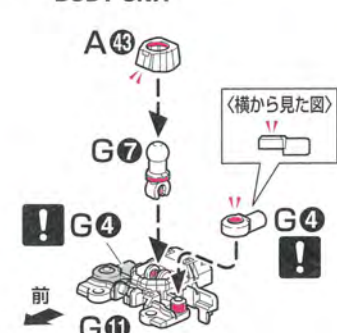


※この商品には「RGガンダム試作1号機 ゼフィランサス」以外が入っていません。

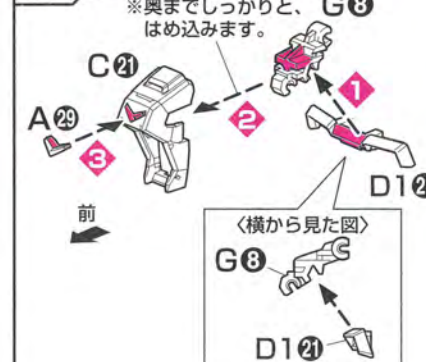
BODY UNIT

GUNDAM GP01 ZEPHYRANTHES

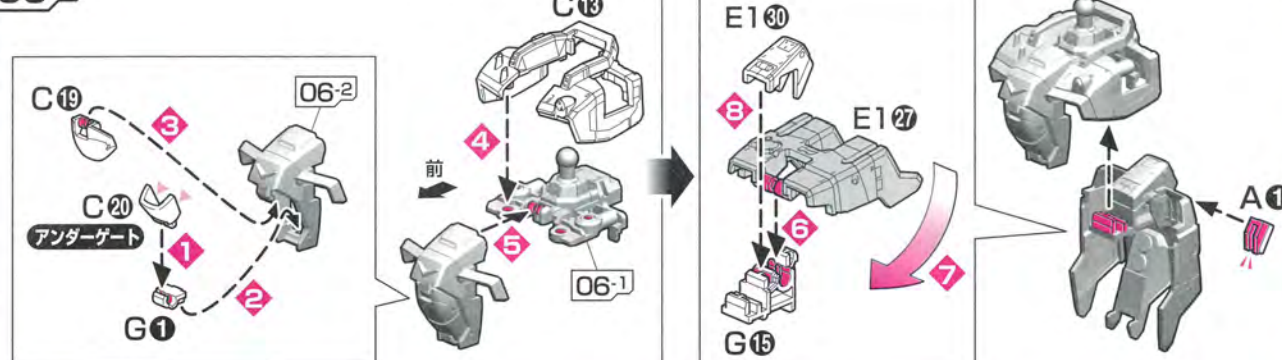
06-1 [胸部の組立] BODY UNIT



06-2



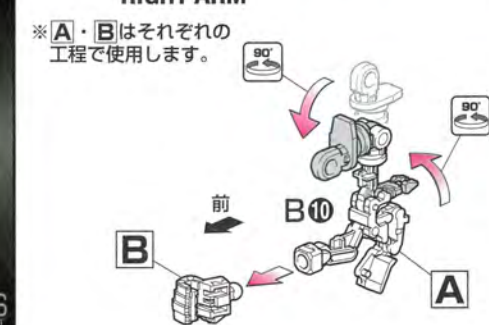
06-3



ARM UNIT

GUNDAM GP01 ZEPHYRANTHES

07-1 [右腕の組立] RIGHT ARM



07-2



07-3

前
前
前

F12
A14
A16
F14

E16
D11

〈完成図〉
〈前から見た図〉
〈横から見た図〉

※ミゾにしっかりとめてください。外装がスライドしなくなる恐れがあります。

07-4

前
前

F11
D16
E16
D15

〈内側から見た図〉
D16
E16

07-1: B

右腕の可動

※可動させる際にはスライドする装甲パーツを押さえないでください。フレームが破損する恐れがあります。

関節の動きと連動して装甲がスライドします。

※左腕も完成後、同様に動かしてください。

08-1 [左腕の組立] LEFT ARM

※A・Bはそれぞれの工程で使用します。

前
前

B9
B

A
A

08-2

前
前

E26
D16

〈完成図〉

※ミゾにしっかりとめてください。外装がスライドしなくなる恐れがあります。

08-3

前
前
前

F10
A11
A12
D21
D26
E26
F13

〈前から見た図〉
〈横から見た図〉
〈内側から見た図〉
D26
E26

08-1: B

09-1 [肩部の組立] SHOULDER

×2

前
前

E17
E18
D13 (D23)
F6

アンダーゲート (D22) D12

〈内側から見た図〉

09-2

前
前

06 で作った胸部
09-1 で作った右腕
08 で作った左腕

※ピンの先端を揃えます。

〈上から見た図〉

右腕
左腕
前

※スキマを開けます。

09-3

前
前

C14
A2
C16
A6

向きをかえます。

09-2

HEAD UNIT

10-1 [頭部の組立] HEAD UNIT

前
前

A6
A7
C17
A42

10-2

前
前
前

F10
A16
A6
A15
A9
A30
F9
C18
A10

※折らないように注意してください。

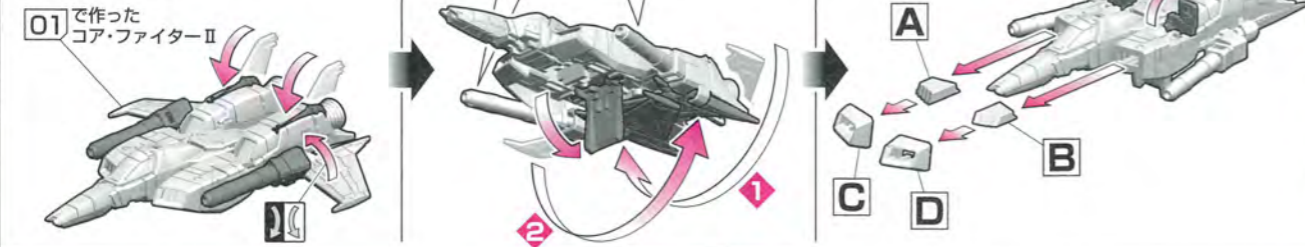
アンダーゲート A10

09

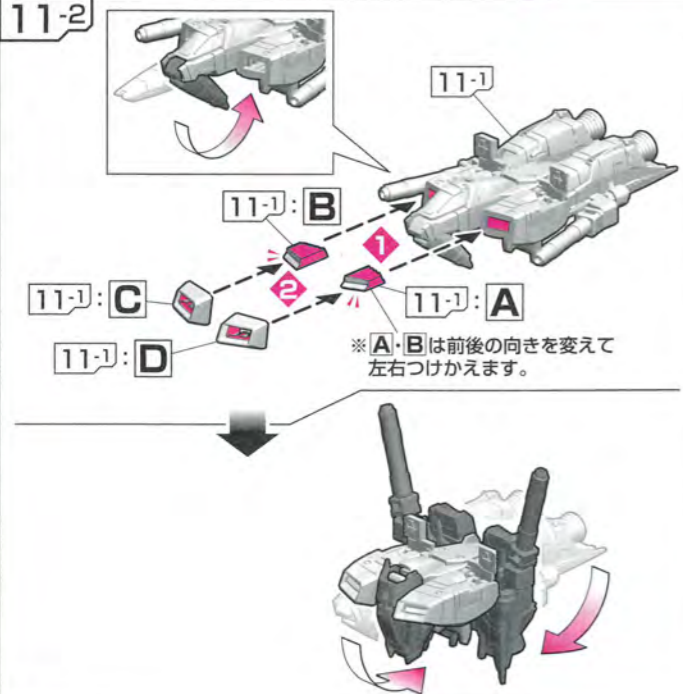
11-1 [コア・ファイターIIの変形]

CORE BLOCK SYSTEM

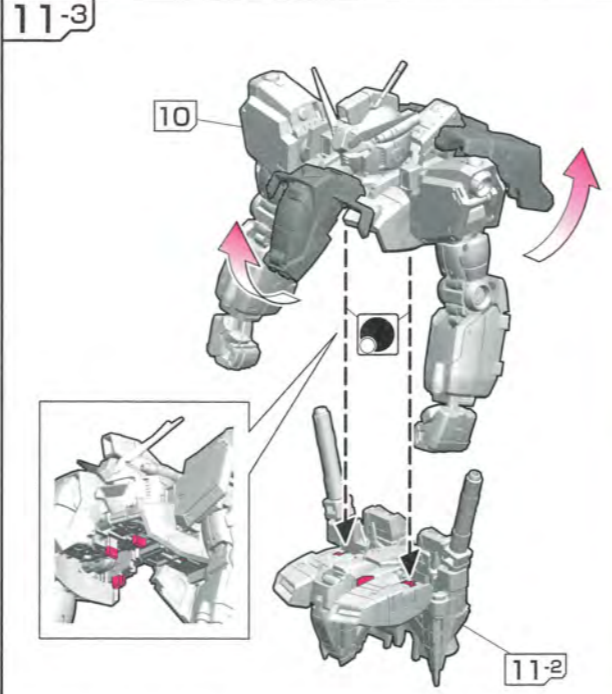
※ランディングギア(A⑦、A⑩)、G⑩は外しておきます。



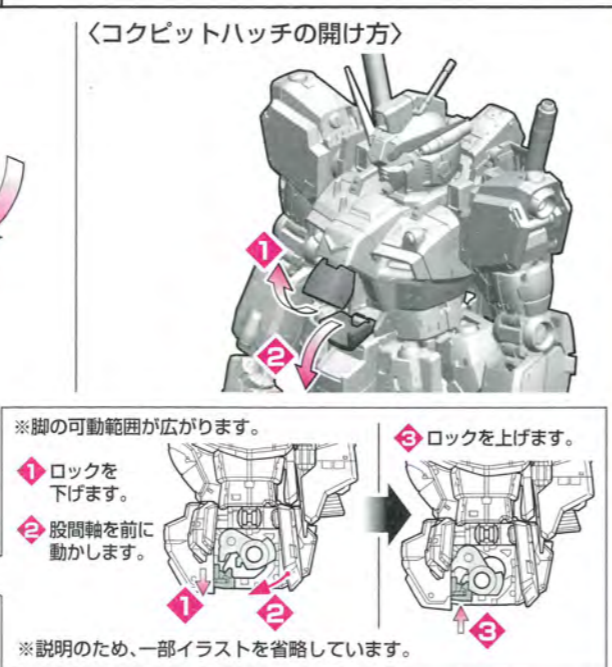
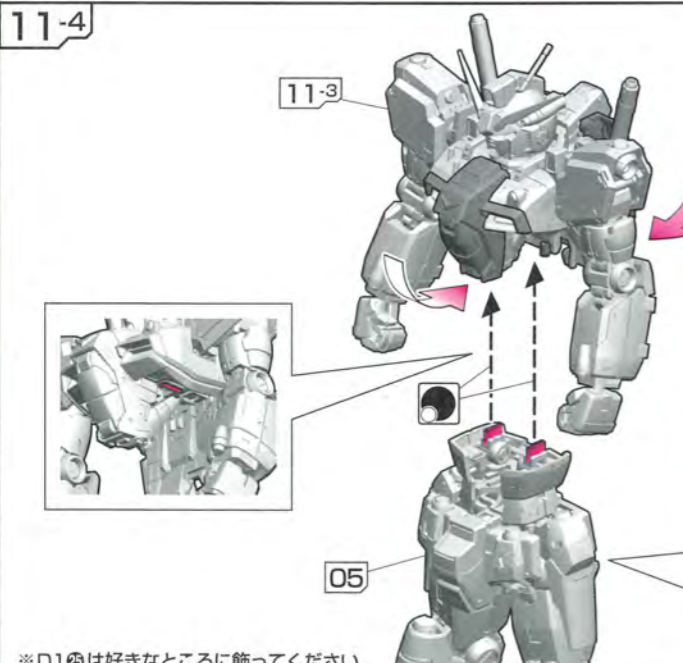
11-2



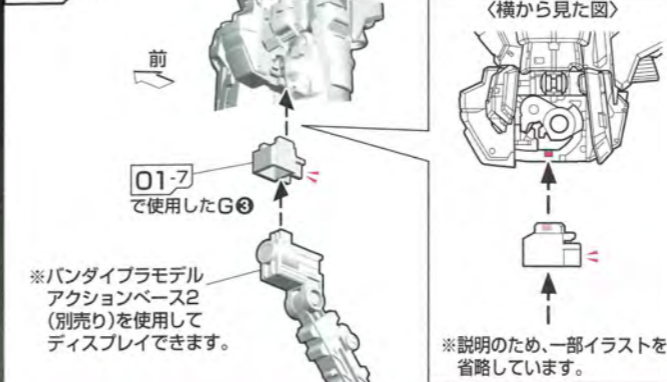
11-3



11-4



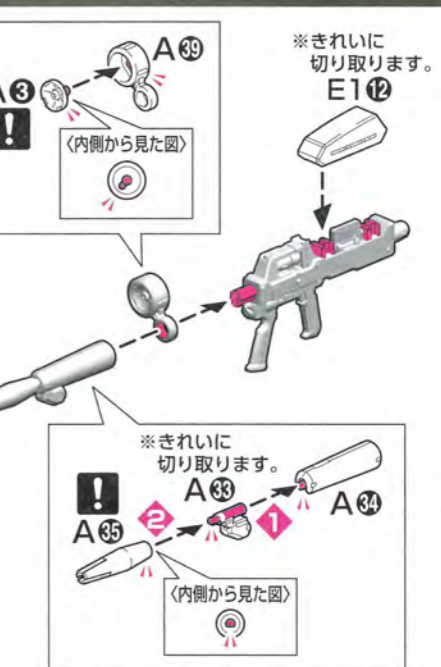
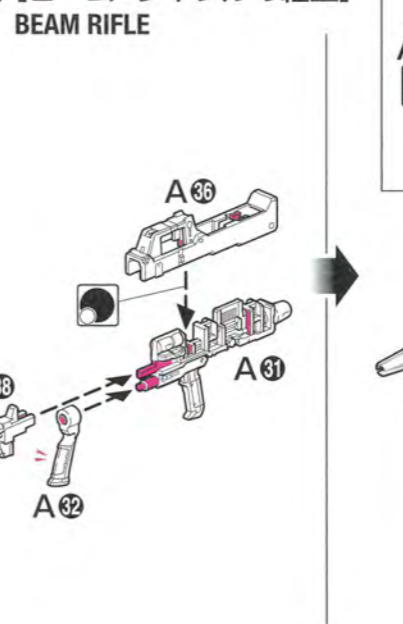
11-5



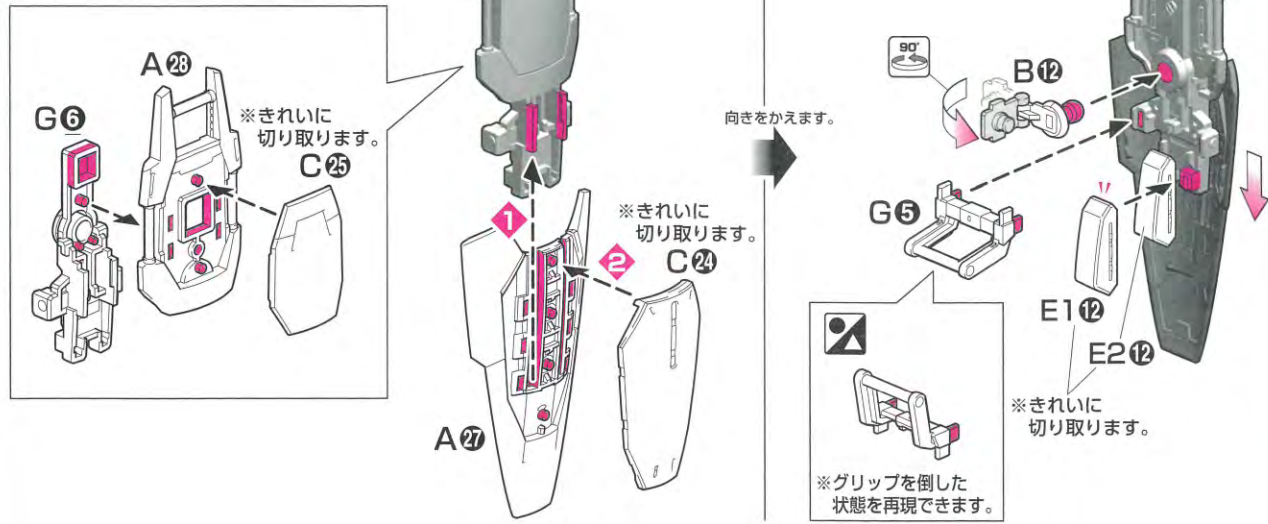
WEAPON



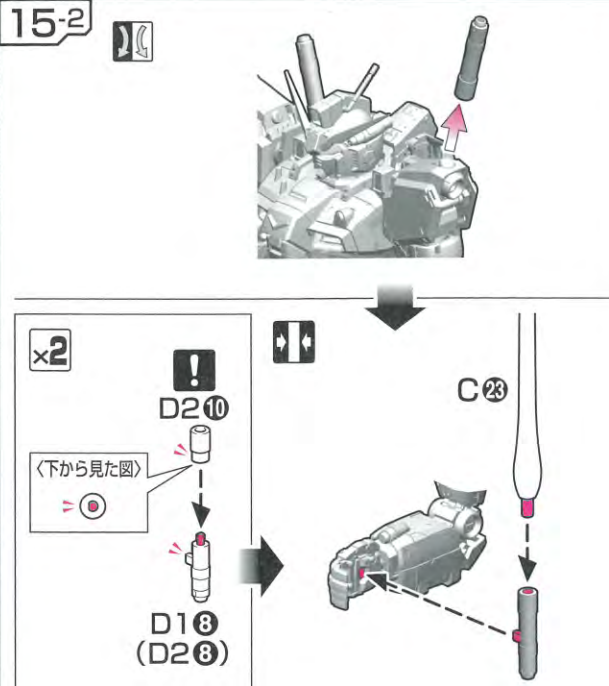
12 [ビーム・ライフルの組立]



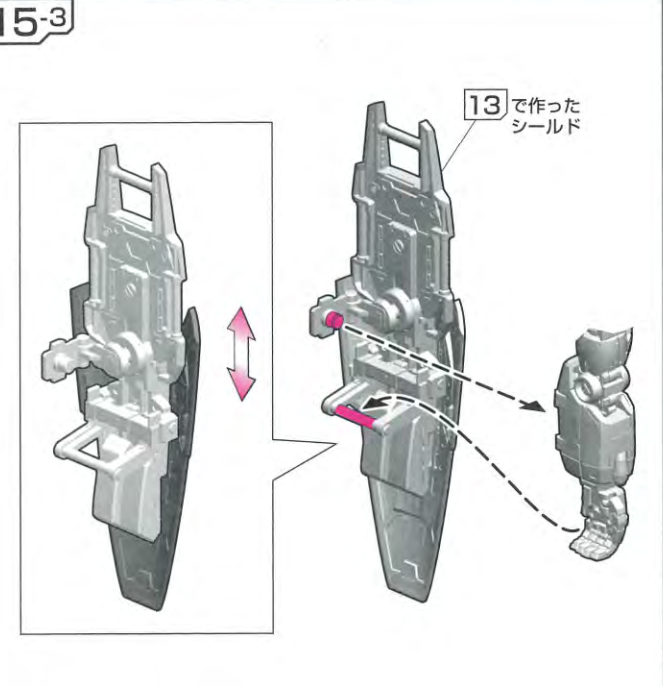
13 [シールドの組立]
SHIELD



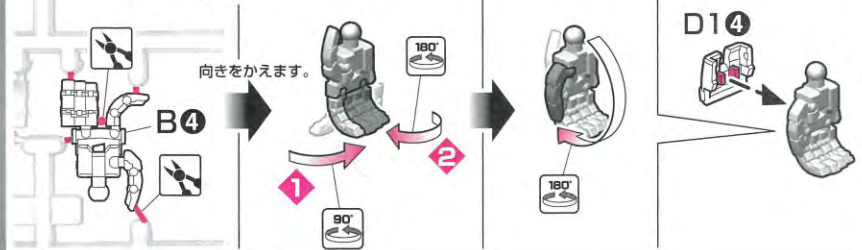
15-2



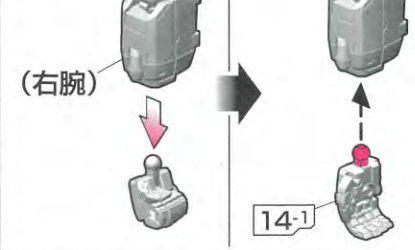
15-3



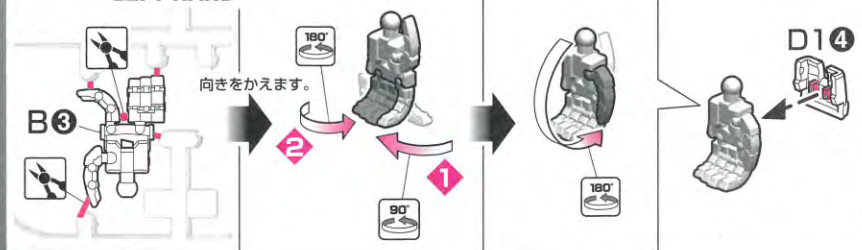
14-1 [右手首の組立]
RIGHT HAND



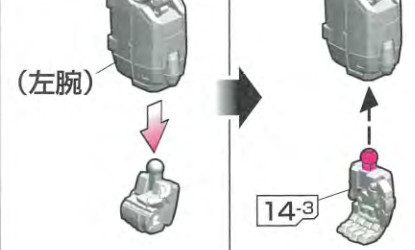
14-2



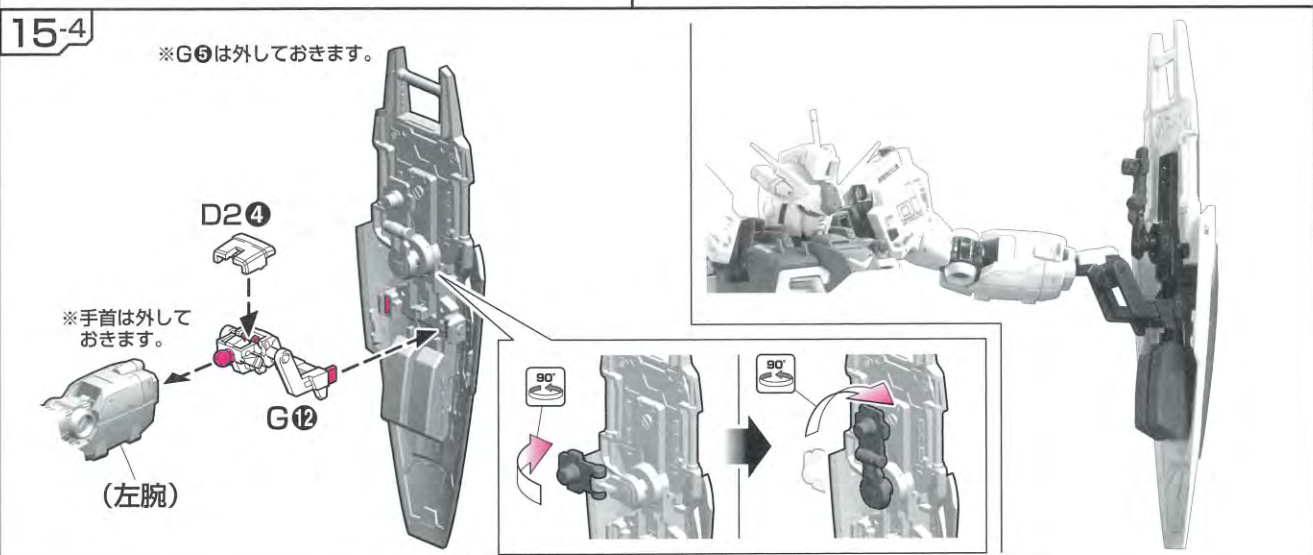
14-3 [左手首の組立]
LEFT HAND



14-4



15-4



15-1

